

日本の自動車産業のグローバル化戦略に関する調査研究

(報告書の概要)

本調査研究は、我が国自動車産業（完成車メーカー及び部品メーカー）を対象として、「市場」、「生産」、「開発」という3つの領域に対応したグローバル化戦略の現状と方向性について調査したものである。調査に当たっては、学識経験者、自動車産業の専門家・アナリスト、自動車ジャーナリスト等からなる委員会を設け、委員会の場に主要企業の経営者や第一線の実務家を招いて講演と質疑応答を行った。報告書は、これらの結果と合わせて文献資料等と諸データ等の収集・分析を行い、考察を加えたものである。

○自動車産業のグローバル市場戦略

グローバル市場化に関する論点としては、勃興する新興市場への対応、そこでの現地生産者などとの競争、市場と生産の両面をにらんだ最適な拠点の立地展開の問題などがあげられる。今後の方向についてみると、北米など先進国市場の重要性は変わらないが、各社とも新興国を中心に海外事業を展開・拡大していくことが予想される。これらの国ではコンプライアンスの問題もあるので、現地社会と調和をとり、ともに成長することが求められる。また、環境・エネルギー問題への対応についても、グローバル市場でビジネスを行う各社においてその対策が求められている。

○自動車産業のグローバル生産戦略

グローバル生産に関する論点としては、グローバル調達・生産を効果的に進めるためのバリューチェーン・サプライ・チェーンの確保とロジスティクスへの対応、現場における人材の確保とそのための教育などの問題があげられる。既に、ASEAN、中国、インドなどを舞台としたFTA・EPAが自動車部品等の調達面に影響を及ぼしたり、途上国の生産拠点の輸出拠点化などを促進したりする動きが出ている。今後の市場統合の動きはわが国企業の戦略に大きな影響を与える要素となっており、これに対応した部品調達と製品供給をグローバルな視点で進めていくことが必要である。またそのためには、人材の育成、企業の現地化なども重要である。

○自動車産業のグローバル開発戦略

市場や生産のグローバル化に対応するためには、生産拠点や市場に近いところで開発することが重要であり、グローバル開発の推進が各社の重要なテーマとなっている。自動車メーカー各社にとっては世界戦略車の世界同時立ち上げが重要になっているが、そのためには国・地域ごとにモディファイする機能を持つことが必要である。将来的には中核部品の開発まで進めていくことが重要である。またそのため、現地での人材教育、知財教育などのためのノウハウを身につけることが求められる。

(報告書の主要構成)

はじめに

第1章 自動車産業のグローバル市場戦略

第2章 自動車産業のグローバル生産戦略

第3章 自動車産業のグローバル開発戦略